

## ■ALS基金研究奨励金 交付履歴

年度	分野	番号	氏名	所属機関	研究テーマ	奨励金(万円)	
						原因・治療	福祉・介護
平成8年度	原因究明・治療法	1	青木 正志	東北大学医学部神経内科	筋萎縮性側索硬化症(ALS)における遺伝子解析	80	—
		2	藤田 恒夫	筑波大学臨床医学系神経内科	筋萎縮性側索硬化症の発症機序における酸化的ストレスの関与に関する研究	80	—
		3	川上 秀史	広島大学医学部内科学第三講座	グルタミン酸輸送蛋白の活性化物質に関する研究	80	—
		4	半田 郁子	北陵クリニック	筋萎縮性側索硬化症に対する治療的電気刺激の効果	80	—
		5	木村 謙太郎	大阪府立羽曳野病院呼吸器科	ALSに基因する呼吸不全の治療法に関する研究	80	—
	福祉機器・介護	6	井上 倫夫	鳥取大学工学部知能情報工学科	事象関連脳電位(ERP)を用いてALS患者とコミュニケーション	—	50
		7	齊藤 光典	狭山神経内科病院	末期ALS患者のコミュニケーション障害に対する支援	—	30
		8	小野崎 千鶴子	栃木県大田原保健所	介護向上における難病保健ボランティアの有用性について	—	30
		9	小山 せつ子	長野県長野保健所	長野保健所における難病患者在宅支援	—	30
平成9年度	原因究明・治療法	10	柴田 亮行	東京女子医科大学病理学第一講座	ALSの脊髄におけるSODの非酸素的糖化と神経細胞毒性に関する研究	100	—
		11	中野 亮一	新潟大学医学部附属病院	紀伊半島及びその周辺地域のALSで発見された変異Cu/Zn Superoxide dismutaseのトランジェットマウス作成とその解剖	100	—
		12	永野 功	国立療養所米沢病院神経内科	酸化的ストレスと運動ニューロン死との関連について	100	—
		13	神田 隆	東京医科歯科大学医学部神経内科	養脊髄前角細胞に対する効果と、その有効な脊髄内導入に関する研究	100	—
	福祉機器・介護	14	齊藤 光典	狭山神経内科病院	末期ALS患者のコミュニケーション障害に対する支援—意思伝達装置、(透明文字盤)等の効果的な使用方法について	—	50
		15	永松 啓爾	大分県立病院神経内科	人工呼吸器外れ警報器の開発	—	20
		16	箕輪 和文	鹿児島生協病院	ALSに対する在宅人工呼吸療法導入とボランティアによるQOL向上及びcost-tlについて	—	30
17	米田 東子	国立療養所筑後病院	ALS患者のQOL向上をめざして	—	50		
平成10年度	原因究明・治療法	18	郭 伸	東京大学医学部附属病院神経内科	ALS脊髄におけるグルタミン酸受容体のカルシウム透過性に関わる分子変化に関する研究	100	—
		19	富山 誠彦	弘前大学医学部附属病院第3内科	In situ hybridization 法によるラット、正常なヒトおよびALS脊髄における代謝型グルタミン酸受容体の分布に関する研究	100	—
		20	山本 正彦	名古屋大学医学部神経内科	ALSにおける神経栄養因子及びその受容体の動態と病態形成に果たす役割	100	—
	福祉機器・介護	21	金森 晶	埼玉県総合リハビリテーションセンター地域リハビリテーション課	在宅ALS患者におけるインターネット支援ガイドの開発—Macintoshの操作ガイドブック・Ke:nxのスクランキーボードの作成	—	50
		22	高橋 晴美	仙台往診クリニック	眼球運動を利用した意思伝達装置の入力方法に関する研究	—	50
		23	戸田 健一	社会保険下関厚生病院脳神経センター脳神経内科	在宅ALS患者の遠隔診療支援システムの確立	—	50
24	高橋 ひで子	国立療養所犀潟病院看護婦長	ALS患者に於ける流涎のための苦痛・不快の緩和と介護負担の軽減	—	20		
平成11年度	原因究明・治療法	25	佐々木 彰一	東京女子医科大学脳神経センター神経内科	SOD1変異マウス(G93A)における病理学的研究	100	—
		26	小久保 康昌	南勢町会病院神経内科	紀伊半島の筋萎縮性側索硬化症の疫学的、臨床学的、神経病理学的検討	80	—
		27	荒崎 圭介	関東通信病院神経内科	運動単位推定数によるALSの臨床経過の定量化	95	—
	福祉機器・介護	28	吉野 英	国立精神神経センター国府台病院神経内科	高度障害ALS患者に対する光トポグラフィーを用いたコミュニケーション方法の開発	—	50
		29	齊藤 光典	狭山神経内科病院	人工呼吸器依存ALS患者の療養生活において患者の生きる力を支える楽しみとは何か—パソコンの活用によるQOL向上の可能性について—	—	50
		30	小長谷 百絵	東京医科歯科大学博士後期課程老人看護学専攻	ALS患者さんの苦しみに関する研究—告知に関連して—	—	50
31	前川 巳津代	国立療養所三川病院	テレビ電話を用いたALS患者の在宅療養に対する看護支援の開発	—	50		

年度	分野	番号	氏名	所属機関	研究テーマ	奨励金(万円)	
						原因・治療	福祉・介護
平成12年度	原因究明・治療法	32	佐藤 勝重	東京医科歯科大学医学部第二生理学講座助手	ニューロン活動の光学的イメージングによるALSモデルマウスにおける脊髄運動神経細胞死の機能的プロセスの解析	100	—
		33	鎌倉 恵子	防衛医科大学校第三内科助教授	前角神経細胞変性における興奮性アミノ酸トランスポーターとグリアの役割—Neurotrophic factor, グルタミン酸-シスチン輸送体の再生での役割—	100	—
	福祉機器・介護	34	山本 真	大分県勤労者医療生協大分協和病院診療部長	在宅人工呼吸管理下のALS患者に対する、自己制御機能を有する自動吸引装置の開発	—	50
		35	千島 亮	信州大学医療技術短期大学部作業療法学科講師	吸引型Page Turner のページ開閉機構の検討と実用開発	—	50
		36	寺田 雅彦	滋賀医科大学医学部附属病院総合診療部助教授	遠隔医療システムを用いたALS患者の在宅医療支援に関する研究	—	50
		37	村岡 宏子	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士課程	筋萎縮性側索硬化症患者と家族のケアをめぐる相互作用の構造—介護者の導入によって顕在化する現象の分析—	—	42
38	吉良 潤一	九州大学大学院医学系研究科附属脳神経施設内科部門教授	入院時医学管理料通減制が病院運営に与える影響と患者のQOL評価に関する調査研究～筋萎縮性側索硬化症を対象として～	—	50		
平成13年度	原因究明・治療法	39	田中 光一	東京医科歯科大学難治疾患研究所分子神経科学教授	ALSの治療法としての抗酸化ストレス・抗興奮毒性の効果	100	—
		40	横田 隆徳	東京医科歯科大学医学部付属病院講師	リボザイム、カタリチックDNAを用いたSOD変異による筋萎縮性側索硬化症の遺伝子治療	100	—
	福祉機器・介護	41	関本 聖子	宮城県神経難病医療連絡協議会難病医療専門員 財団法人広南会広南病院看護師	難病医療専門員によるALS等神経難病患者支援システムの構築とその充実	—	50
		42	松田 美子	国立療養所川棚病院看護婦長	常時インターネット接続を利用した在宅療養中のALS患者に対する医療支援の試み	—	50
		43	日下 富衣	国立療養所高松病院看護婦長	筋萎縮性側索硬化症患者の嚥下障害に対する看護援助	—	50
		44	齋藤 明子	山形大学医学部看護学科地域看護学講座助手	在宅筋萎縮性側索硬化症患者の介護の構造に関する研究	—	50
45	平井 優美子	大分医科大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程 院生	長期人工呼吸器装着中の在宅ALS患者の内的世界—生きることをどのように意味づけているか—	—	50		
平成14年度	原因究明・治療法	46	佐々木 彰一	東京女子医科大学脳神経センター神経内科助教授	SOD1変異マウスの脊髄前角細胞の近位部軸索における、axonal transportの障害について	100	—
		47	荒崎 圭介	NTT東日本関東病院神経内科医長	ALSに対するメロキシカムの治療効果の判定(運動単位推定数を用いた検討)	96	—
		48	永野 功	岡山大学大学院医歯学総合研究科神経病態内科学講師	Insulin-like growth factor-1(IGF-1)の脊髄腔内持続注入療法によるALS治療法の開発	100	—
	福祉機器・介護	49	山本 智子	狭山神経内科病院言語聴覚士	眼球運動が曖昧になったALS患者の為の拡大・代替コミュニケーション—Yesサインを使って効率的に長文メッセージを伝える工夫—	—	50
		50	岩木 三保	福岡県難病医療連絡協議会難病医療専門員	筋萎縮性側索硬化症患者の在宅療養に関するQOL調査、並びに医療経済学的調査研究	—	50
		51	大塚 義顕	国立療養所千葉東病院歯科医長	ALS患者の口腔ケア支援のための介入研究	—	50
52	関 晴朗	国立療養所山形病院研究検査科長	人工呼吸器装着ALS患者における音声言語による意思伝達方法についての検討	—	30		
平成15年度	原因究明・治療法	53	古谷 博和	九州大学大学院医学研究院脳神経内科助教授	常染色体優性若年性家族性筋萎縮性側索硬化症の連鎖解析	100	—
		54	保住 功	岐阜大学医学部神経老年学分野	ALSの発症、病状進展におけるメタロチオネインⅢ(MT-Ⅲ)の役割の解明に関する研究	100	—
	福祉機器・介護	55	水谷 浩	東北福祉大学総合福祉学部情報福祉学科助手	情報携帯端末(PDA)の環境制御装置への活用に関する研究～ALS患者にとって有用なユニバーサルデザインの提案～	—	50
		56	萬代 優子	東京大学大学院医学系研究科健康科学看護学専攻健康社会学分野修士課程(看護師保健士)	在宅人工呼吸療法を行う筋萎縮性側索硬化症患者と介護家族に特有の経験とニーズの構造的把握	—	30
		57	大国 豊子	島根医科大学医学部附属病院地域医療連携センター島根県難病医療専門員	ALS患者の在宅療養支援・推進のための調査研究	—	30
		58	加納 尚之	国立米子工業高等専門学校電子制御工学科助教授	ALS患者のための事象関連電位を用いたコミュニケーションに関する研究	—	50
59	笠井 千秋	近畿大堺病院看護部看護師長	人工呼吸器装着ALS患者の頻回ナースコールの意味するもの—その背景と対策—	—	50		
60	河村 剛志	狭山神経内科病院	気管切開、人工呼吸器装着患者の外泊に対する問題点とその解決策について	—	20		

年度	分野	番号	氏名	所属機関	研究テーマ	奨励金(万円)	
						原因・治療	福祉・介護
平成16年度	原因究明・治療法	61	河原 行郎	東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻神経内科学医師	孤発性ALS脊髄運動ニューロンに特異的に生じているAMPA受容体RNA編集異常のメカニズムに関する研究	100	—
		62	荒若 繁樹	山形大学医学部器官病態統御学講座生命情報内科学分野助手	ALSマウスモデルにおける加齢に伴う変異形SOD1の可溶性変化と分子シャペロンの関係について	80	—
	福祉機器・介護	63	金澤 恒雄	エクセルオブメカトロニクス株式会社代表取締役	「脳血流量変化によるYes/No検出装置」開発におけるベルト型額装着部の試作	—	50
		64	米崎 二郎	社会福祉法人大阪市障害者福祉スポーツ協会大阪市援助技術研究室	ALSによる姿勢・移動性の障害に対するアシスティブテクノロジーの調査・研究～車いす・シーティング適正処方システムの開発～	—	50
平成17年度	原因究明・治療法	65	日出山 拓人	東京大学神経内科学大学院生	ALSの病因解明と治療法の開発	100	—
		66	加藤 英政	東北大学先進医工学研究機構チームリーダー	低コスト・迅速新薬スクリーニングを目指した運動ニューロン分化誘導法システムの確立	100	—
	福祉機器・介護	67	加納 尚之	国立米子工業高等専門学校電子制御工学学科助教授	ALS患者のための事象関連電位(P200、N200、P300)を用いた目標項目の特定	—	50
		68	山口 雄三	東亜大学医療工学部医療福祉機械工学科	吸痰管自動駆除機構の研究	—	50
平成18年度	原因究明・治療法	69	村上 哲郎	岡山大学医学部歯学部付属病院神経内科助手	ALSの画期的診断法の開発と応用に関する研究	100	—
		70	菊池 仁志	九州大学病院神経内科助手	ALS患者に対する心理評価とケアへのアプローチ	—	50
	福祉機器・介護	71	外山 誠	特定非営利活動法人在宅ケア協会代表幹事	ALS/MND患者の在宅療養乃至社会生活を長期安定的に改善するための公的介護サービスに関する実態調査	—	50
		72	野崎 園子	独立行政法人国立病院機構徳島病院臨床研究部	ALSにおける電気式人工喉頭を用いたコミュニケーションの試み	—	50
平成19年度	原因究明・治療法	73	漆谷 真	滋賀医科大学分子神経科学研究センター助手	病原タンパク特異的モノクローナル抗体を用いた、筋萎縮性側索硬化症の新規治療法開発についての研究	100	—
		福祉機器・介護	74	大矢 哲也	東京電機大学大学院先端科学技術研究科情報通信メディア工学専攻博士後期課程2年	眼電図による随意性瞬目をを用いたコミュニケーションツールの文字入力への検討	—
平成20年度	原因究明・治療法	75	山下 賢	熊本大学医学部附属病院神経内科医員(研究員)	孤発性ALS発症における小胞体ストレス関与の解明および小胞体内異常蛋白蓄積をターゲットとするALS遺伝子治療の開発研究	100	—
		76	山下 雄也	財団法人精神神経科学振興財団リサーチレジデント	孤発性ALSの発症に関連するRNA編集酵素ADAR2活性の調節機構の解析	100	—
		77	千葉 知宏	慶應義塾大学医学部解剖学教室助教	グリア細胞活性化によって誘導されるD-セリン-グルタミン酸毒性増加を標的とした新規ALS治療薬の開発	100	—
	福祉機器・介護	78	堀 潤一	新潟大学工学部准教授	ダイポールイメージングを用いたブレインコンピュータインターフェースの開発	—	50
		79	山脇 伸行	近畿大学生物理工学部電子システム情報工学科准教授	脳波利用型ブレイン・コンピュータ・インターフェースによるコミュニケーションシステム実用化のための調査研究	—	40
平成21年度	原因究明・治療法	80	長野 清一	大阪大学大学院医学系研究科神経内科学助教	変異SOD1によるALS発症機構の解明	100	—
		81	西本 祥仁	慶應義塾大学医学部内科学(神経内科)助教	孤発性筋萎縮性側索硬化症におけるTDP-43蛋白質蓄積機序の解明とAMPA受容体GluR2サブユニットRNA編集率変化の検討	100	—
		82	渡辺 保裕	鳥取大学医学部付属病院脳神経内科助教	筋萎縮性側索硬化症モデルマウスに対する細胞移植-骨髄間葉系肝細胞移植(MSC)の動態解析	100	—
	福祉機器・介護	83	田中 基大	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科助教	自動診断・通知機能を有する意思伝達装置用入力装置の開発	—	50
		84	岩木 三保	福岡県重症神経難病ネットワーク難病医療専門員	ALS介護者の介護肯定感に影響する要因の検討	—	50
85		会田 泉	国立病院機構新潟病院神経内科医長	呼吸不全を伴うALS患者における経皮内視鏡的胃瘻増設術(PEG)の術式と栄養療法の標準化についての研究	—	50	
平成22年度	原因究明・治療法	86	大友 麻子	東海大学医学部基礎医学系分子生命科学奨励研究員	上位運動ニューロン変性モデル細胞の作製と解析	100	—
		87	廣瀬 哲郎	(独)産業技術総合研究所バイオメディカル情報研究センター研究チーム長	ALS原因蛋白質機能を制御する非コードRNAの機能解明	100	—
		88	内匠 透	広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授	原因遺伝子TLSの結合タンパク質の同定と神経変性における関与の解明	100	—
	福祉機器・介護	—	該当なし	—	—	—	

年度	分野	番号	氏名	所属機関	研究テーマ	奨励金(万円)	
						原因・治療	福祉・介護
平成23年度	原因究明・治療法	89	伊東 大介	慶応義塾大学医学部神経内科専任講師	TDP-43とFUS/TLSプロテインパッチャーにおける共通分子病態の解明	100	—
		90	原 英彰	岐阜薬科大学薬効解析学研究室教授	新規病態関連タンパク Gpnmbに着目したALS早期診断薬開発並びに発症機序解明	100	—
		91	飯田 有俊	(独)理化学研究所ゲノム医科学研究センター骨関節疾患研究チーム上級研究員	体系的・網羅的遺伝子解析によるALS関連遺伝子の探索	100	—
	福祉機器・介護	92	池田 真紀	社会福祉法人大阪市障害者福祉スポーツ協会大阪市援助技術研究室	AAC適性処方システム・コミュニケーション機器スイッチ適合評価ツールの研究開発	—	50
平成24年度	原因究明・治療法	93	二瓶 義廣	慶応義塾大学医学部神経内科助教授	孤発性ALS患者由来iPS細胞を用いたTDP-43プロテインパッチャーの病態研究	100	—
		94	古川 良明	慶応義塾大学理工学部化学課准教授	ジルフィド結合に着目したALS変異SOD1の新たな凝集メカニズム	100	—
		95	西頭 英起	東京大学大学院薬学系研究科特任研究員	SOD1構造変化を認識するモノクローナル抗体に基づく家族性および孤発性ALSの革新的診断と治療法の基盤開発	100	—
	福祉機器・介護		該当なし	—	—	—	—
平成25年度	原因究明・治療法	96	山下 雄也	東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター臨床医工学部門特任研究員	孤発性ALSの緩徐な運動ニューロン死に関わるAMPA受容体を介したCa <sup>2+</sup> シグナリングの分子病態解析	100	—
		97	金子 雅幸	岐阜薬科大学大学院薬物治療学・講師	ALSにおける亜鉛トランスポーターに起因する小胞体ストレスの作用機序の解明と治療薬の開発	100	—
		98	山口 淳	千葉大学大学院医学研究院神経生物学准教授	メチル化阻害薬による家族性ALSの新規治療薬の開発	100	—
	福祉機器・介護	—	該当なし	—	—	—	—
平成26年度	原因究明・治療法	99	西村 智	東京大学循環器内科・TSBMI特任研究員(兼務)	iPS細胞によるALSにおける神経障害機転に対する細胞療法の可能性:生体イメージングを用いた解析	100	—
		100	中矢 正	北海道大学大学院薬学系研究員・助教	ALS原因因子FUSによる標的RNA分子機能制御機構の解析	100	—
		101	高橋 祐二	国立精神・神経医療研究センター病院神経内科・第二神経内科医長	家族性ALSの新規病因遺伝子ERBB4(ALS19)の免疫組織化学的検討によるALSの病態解明	100	—
	福祉機器・介護	102	鎌田 恭輔	旭川医科大学医学部脳神経外科・教授	脳波質電位P300解析に基づく意思疎通法の確立	—	50
		103	木田 耕太	東京都立神経病院神経内科・医師	筋萎縮性側索硬化症における経皮内視鏡的胃瘻造設術の適応時期および安全性についての検討	—	50
平成27年度	原因究明・治療法	104	伊東 大介	慶応義塾大学 医学部 神経内科 専任講師	創薬に向けた筋萎縮性側索硬化症の分子病態の解明と新規治療ターゲットの同定	100	—
		105	石原 智彦	新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター 分子神経疾患資源解析学分野	ALSにおける Survival Motor Neuron 遺伝子数多型の疾患修飾因子としての検討	100	—
		106	鈴木 宏昌	東京医科大学 医学部 医学科 薬理学分野 助教	hnRNP family protein の機能異常に着目したALS病態メカニズムの解明	100	—
		107	徳田 栄一	慶応義塾大学 理工学部 化学科生命機構化学研究室 助教	新規の線虫モデルを利用したALS病態伝播メカニズムの検証	100	—
	福祉機器・介護	—	該当なし	—	—	—	—
平成28年度	原因究明・治療法	108	太田 康之	岡山大学病院 神経内科 講師	運動ニューロン変性を伴う新規遺伝性脊髄小脳変性症 Asidan(SCA36)原因遺伝子NOP56によるALSの運動ニューロン変性分子機構の解明	100	—
		109	北村 朗	北海道大学大学院先端生命科学研究院 細胞機能科学分野 助教	TDP43に潜在する非古典的核内輸送シグナル配列の同定と、細胞質における神経細胞毒性低減機構の解明	100	—
		110	平野 牧人	近畿大学医学部堺病院 神経内科 准教授	ALS患者iPS細胞由来神経細胞に対するオートファジー促進薬や抗酸化薬による治療研究	100	—
	福祉機器・看護/介護	111	石北 直之	国立病院機構 渋川医療センター 小児科医長	自動リハビリ支援器具『呼吸する抱き枕』の開発	—	50
		112	伊藤 史人	島根大学総合理工学研究科 助教	ローコスト視線入力装置による意思伝達環境の構築およびマニュアル作成	—	50

年度	分野	番号	氏名	所属機関	研究テーマ	奨励金(万円)	
						原因・治療	福祉・介護
平成29年度	原因究明・治療法	113	伊東 大介	慶應義塾大学医学部 神経内科 専任講師	ALS病態誘導人工遺伝子による人工ALSモデルマウス樹立と病態解明	100	—
		114	赤松 恵	東京大学大学院医学系研究科郭研究室・特任研究員	RNAアプタマーを用いた分子標的医薬による孤発性ALSの治療法の開発	100	—
		115	細川 雅人	公益財団法人東京都医学総合研究所 認知症・高次脳機能研究分野 認知症プロジェクト・主席研究員	運動神経特異的にTDP-43を蓄積するALSモデルマウスの創出と治療薬開発	100	—
	福祉機器・介護	—	該当なし	—	—	—	
平成30年度	原因究明・治療法	116	井口 洋平	名古屋大学医学部附属病院 神経内科 医員	生体内ニューロン特異的transcriptome解析によるALS/FTLD発症と進行のメカニズム解明と病態に即した治療法開発	100	—
		117	今村 恵子	京都大学iPS細胞研究所 特定拠点 助教	ミクログリア病態から挑む筋萎縮性側索硬化症の治療薬研究	100	—
		118	宮崎 雄	大阪大学医学系研究科 神経遺伝子学 特任助教	新規モデルマウスを用いたALSの発症病態の解明	100	—
	福祉機器・介護	119	藤本 陽介	大阪大学国際医工情報センター臨床神経工学 寄付研究部門 特別研究学生	頭蓋内皮質脳波を利用したBMI技術とスマートデバイスの融合による革新的支援技術の開発	—	50

						奨励金合計	6,251	2,487
						件数	64	55

奨励金交付総額(H8～30年度:23年間) 8,738 万円

交付総件数(H8～30年度:23年間) 119 件